

Q⁷

消毒薬の消毒時間について教えてください

A

消毒薬を使用して効果的に消毒するには、消毒する対象物(生体・医療用具・環境など)や消毒法(洗浄法、擦式法、清拭法、浸漬法、塗布など)を選び、どのくらいの時間をかけて、いつ(処置前、処置後あるいは処置前後)行うのが重要です。また、消毒薬の消毒効果は、1)作用時間、2)作用濃度、3)作用温度により大きく影響され、とくに作用時間と作用濃度が重要です。しかし、対象物に有機物やバイオフィームが存在するときは、消毒薬によっては消毒効果が著明に低下することがあるため、有機物を処理したあと使用することになります。

消毒薬を用いて消毒するときの作用時間は、対象物や消毒法によっても異なります(表)。一般の手指消毒では20~30秒以上の洗浄処置あるいは擦式処置が必要で、医療用具などを浸漬する場合は30~60分間以上の処置となります。

表 対象物による消毒時間

対象	時間
手指消毒(スクラブ剤—スクラブ法)	30秒間以上 洗浄
手指消毒(ラビング剤—ラビング法)	20秒以上(アルコールが乾燥するまで) 擦式
術前手指消毒(スクラブ剤—スクラブ法)	4~5分間以上 洗浄
床上の血液の消毒	5分間以上後 清拭
医療用具の消毒	30~60分間以上 浸漬
内視鏡(過酢酸、グルタラールなど)	4~60分間以上 浸漬

文献

- 1) 辻 明良：感染制御のための消毒の手びき。ヴェンメディカル，東京，2004
- 2) 小林寛伊ほか，編集：改訂2版 エビデンスに基づいた感染制御，第1集—基礎編。メヂカルフレンド社，東京，2003
- 3) Damani NN : Manual of Infection Control Procedures(2nd Edition), Greenwich Medical Media, 2003

(辻 明良)